



北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月30日 ●事務所/北二条ビル 3階 302号 ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <http://www.kitamirc.jp>

第 3366 回例会・2022 年 5 月 11 日

本日のプログラム

「北見市出身 札幌交響楽団チェロ奏者による演奏」

チェロ：小野木 遼 様 ピアノ：横山 瑠佳 様

2021～2022年度国際ロータリーテーマ

『奉仕しよう みんなの 人生を豊かにするために』

R.I. 会長 シェカール・メータ

第 3365 回例会（4月27日）の記録

ロータリーソング 四つのテスト

会長挨拶 主藤会長

皆さんこんにちは。いよいよ今週からGWという事で、考えますとコロナ禍で今行動制限が無い中での休暇になります。今まで自粛されていた方もこのGWは何処かに行こうかと計画されている方もいらっしゃるかと思います。その矢先に知床で観光船による痛ましい事故が発生してしまいました。26名の内11名が意識不明で見つかるという甚大な被害です。道東の地域にとっても楽しみにしていたGWに水を差すような事態という事になりました。お亡くなりになられた方についてはお悔やみを申し上げたいと思います。コロナ禍で観光の方も影響を受けているという事の中で、今回の事故は利益追求を優先してしまい安全運航を怠ったというような話も聞いております。私が思うには、船が知床の海岸線を通る際に熊等の野生動物がいると乗客をもっと近づけようという様な雰囲気があったと報道にもありましたし、船長も良かれと思って近づく事で結構岩にぶつかるという様な危険な運航をしていたという話も聞きます。そこには大自然に対する畏怖の気持ちが足りない様な気がします。人間は自然を優勢に人間が入れない場所があってもいいですし、大切さというものを保護してあげなければいけないと思います。私個人的には登山を年に何回か行きますが、北海道は特に元々ヒグマ等の野生動物が居るところに我々がお邪魔をしているという感覚なので、鈴等を付けて今から山に入るよという様な気持ちが大事かなと思っております。今回の事故はそういった自然への畏怖が足りなかったのではないかと風にして思っております。



5月という事で、これからよく聞くのは山菜取りに行つて行方不明になったり、熊と出会うというような事もあります。是非とも行楽地ではケガ等に注意をして頂いてGWを過ごして頂きたいと思っております。本日もどうぞ宜しくお願い致します。

幹事報告 田巻幹事

1. 次回の例会は5月11日（水）になります。5月最初のプログラムが札幌交響楽団に所属しております小野木遼さんをお迎えしての例会になります。チェロとピアノによる演奏が12時15分から始まりますので、少し早めに来て頂きまして例会に参加して頂ければと思います。
2. GWになりますので4月29日（金）から5月8日（日）まで事務局がお休みになります。急用がございましたら私の方までご連絡下さい。
3. 旭川東RC創立50周年記念式典及び祝賀会のご案内が来ております。6月18日（土）15時からアートホテル旭川で開催となっております。登録の締め切りが5月16日（月）となっておりますので、参加希望の方は5月11日（水）の例会までにご連絡下さい。



次年度幹事報告 帰山次年度幹事

本日レターボックスに理事役員、委員長の役職を受けて頂いた会員の皆様にご案内をしております。5月11日（水）に新年度の活動に向けてという事で、委員会、方針の作成のご説明を行いたいと思っておりますのでご出席をお願い致します。



委員会報告

高橋(宜)会員

先日行われました父の葬儀に際しまして、皆様方から多分なるご供料・ご供物等を頂きまして誠にありがとうございました。更には会長幹事を始め、役員、会員の皆様方にもお手伝いを頂きました事、深く感謝を申し上げます。滞りなく無事全てが終了しました事を併せてご報告させていただきます。ありがとうございました。



桑原親睦活動委員長

5月18日（水）18時30分よりオホーツクビール園にて花見夜間例会開催の予定とさせて頂いております。コロナの状況と合わせて判断があるかと思いますが、現在のところ予定通りの開催という事で準備をさせて頂きたいと思っております。ご参加の程宜しくお願い致します。



プログラム シリーズ卓話「北見歴史探訪⑦」

北見市総務部 市史編さん係 主事 斎藤 幸喜 様



工業の発展です。北見が出来て最初に行われたのはマッチです。マッチの軸6cm位、これが工業の始まりです。北海道の豊かな自然の中にドロノキというのがあり、この材質が白くて柔らかくて燃え易いという事で、道南から始まってオホーツク管内では明治24年に網走市の山田さんが商業開始をしています。山田さんは銀行もやっていて、所謂そういった資金を基に製紙工場を始めています。後に銀行が解体されましたので廃業しています。北見市関係では常呂川流域で明治28年に佐呂間鈴木八重蔵が始めたという風に言われています。昔はマッチが銀行等にもサービス品でありました。色んな場面でマッチは必要だったのですが、後に北海道は何処に行っても木があつて、あれよあれよという間に山に入っていった様な事が言われています。明治35年に今の田端町でマッチ軸を始めています。軸だけに限らず明治43年に鉄道が入ってきたのは以前ご説明させて頂きました。鉄道が来るのと同時に工事関係者や各社業者、それに伴って人も入つて来ます。そうすると家が必要だという事で丸玉が製材を始めました。明治43年にはベニヤを作つて大正5年に製品化しています。

続いて出来た工業は麻です。製麻、麻、麻葉、大麻です。北見に大麻がよく生えているのはどうしてですか？という問い合わせが来るのですが、歴史的には大麻を基に麻を作っていました。主に戦争の兵器だとか飛行機、そういったものに使われていたようです。

続いて人がどんどん増えて来て、製材が進んで、麻を作つて、次は練乳です。大正14年に森永製菓が野付牛に工場の操業を開始しています。後に桜町に移転してその後に雪印乳業になっていますが、平成10年に閉業しています。人口が増えて牧場がありましたので、そういったところで酪農家が増えてきてこの様なものが進んできたという事です。

続いてはお馴染みのハッカです。昭和14年に世界市場の7割を占めていたという風に言われています。けれども輸入物等には勝てずハッカの生産量が減つて、昭和58年にはホクレンのハッカ工場が閉鎖をされています。ただ、最近私も商工観光部時代にハッカについて事業として始めるという事で、仁頃地区で今ハッカが作られていますし、滝上や網走といったところでも注目を浴びてきています。

続いて大通り8丁目付近の日清製粉。野付牛、今の中央通りですが天候が適していた事で小麦の生産を昭和10年に開始して平成23年には工場が閉鎖されています。

続いて北海珪藻土工業。あまり知られていないかもしれないです。昭和16年、網走の能取湖で取った土を北見に運んで来て作つたと言われています。ただ本当に能取から運ばれてきたのかどうかは不明です。

会長からもありました知床遊覧船の事故です。実は4月1日に大阪の新聞社から、昭和29年に知床岬で漁船の遭難事故が起きていて、今回遊覧船が起きた事故とほぼ同じ場所で遭難をしています。今でも21名が不明のままです。私も全ての新聞を読んでいる訳ではないのですが、船長が悪いとか会社の体質がとか言われていますが、イメージですけど、本州から来て近くで熊を見たい等の素晴らしい北海道の自然、でもその反面危険と隣り合わせだという事を忘れていたのではないのかなと思います。約68年前の事なのですが、実は常呂漁港から出発してウトロで事故に遭つているのです。当時の記録を見ると常呂町史に載っていて、10年後には常呂漁協が記念碑を建てています。ところが斜里では斜里町史にもこの事は触れられていないのです。今一度私共の仕事は今起きた事を次に二度と繰り返さないという仕事ですので、こういう災難があったという事を北海道新聞社さんやNHKさんに違った切込みをして頂いて、海を見ている時に誰も事故に遭うなんて想定しないのですが、自然の恐ろしさ、昼過ぎから天候が荒れてくる、例えば佐呂間の竜巻。あれも突然やってきました。記憶にある方もいらっしゃるかと思います。そういった事を今一度教訓として、何処かの新聞社さんが是非これを取り上げて伝えていくといいのかなと思いました。



出席報告 帰山出席委員長

出席報告	例会日	会員総数	出席免除	総出席計算数	例会出席免除者	事前マークアップ	事後マークアップ	確定計算出席数	出席率
計 算 式		A	B	C	D	E	F	C+E+F	$\frac{C+E+F}{A-B+D} \times 100$
本日	4/27	57	7	36	3	4	-	40	74.074%

【次回5月18日】 「花見夜間例会」

編集後記 知床遊覧船事故について一言。事故を起こした会社が船内に装備していた救命胴衣は、身に付けていても水温が低いと短時間で意識不明になるとのことです。これでは、事故が起きてしまったら、命の危険性が高くなります。観光は、安全性が高く、安心して楽しいものでありたいものです。(J.N)

2021～2022年度 北見R.C.活動方針

原点回帰・みらいへの継承

アール・アイのテーマとは

R I 会長が就任にあたって掲げるその年度の重点目標あるいは指針をいいます。ロータリー一年度を通じて奉仕の実践に最も重要なものです。